

# 「文学の未来と未来への適応」

今年、『SF する思考 荒巻義雄評論集成』(小島遊書房)で第 43 回日本 SF 大賞を受賞した荒巻義雄氏の講演会を開催します。

2023 年

10 月 9 日 (月・祝)

14:00~15:30

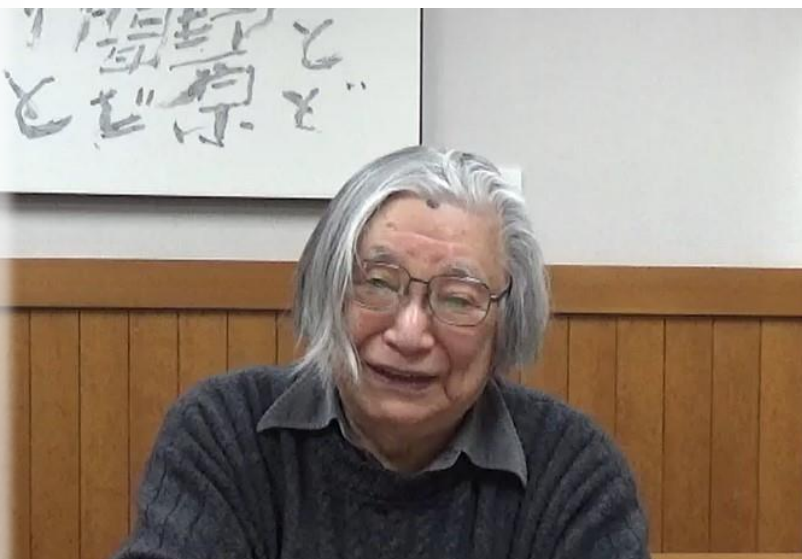
当館講堂にて 参加無料

講師：荒巻義雄

「すでに大きな変革が始まっておりますが、おそらく十数年後には世の中の仕組みがまったく変わってしまうでしょう。当然、文学の環境も、生成 AI やチャット GPT の進化と普及によって、劇的に変化するでしょう。

我々は、そうした未来に備える諸々の適応力を身につけておくことが必要です。決して完全ではありませんが、SF 作家の想像力で、十数年後の未来がどんな世の中になるのかをお話する予定です」

荒巻義雄



要申込

お電話で受付中  
011-511-7655  
(先着 50 名)

荒巻義雄 あらまきよしお

1970 年、SF 評論『術の小説論』、SF 短編『大いなる正午』で SF マガジン(早川書房)デビュー。以来、執筆活動に入り現在に至る。単行本著作数 181 冊(文庫含まず)。1990 年代の『紺碧の艦隊』(徳間書店)『旭日の艦隊』(中央公論(新)社)で、シミュレーション小説の創始者と見なされている。

受賞歴

1972 年、第 3 回星雲賞(短編部門)を『白壁の文字は夕陽に映える』で受賞

2012 年、詩集『骸骨半島』で第 46 回北海道新聞社文学賞(詩部門)

2013 年度札幌芸術賞受賞

2023 年、『SF する思考—荒巻義雄評論集成』で第 43 回日本 SF 大賞を受賞

2014 年 2 月 8 日~3 月 23 日まで北海道立文学館で「荒巻義雄の世界」展を開催。

2014 年 11 月より『荒巻義雄メタ SF 全集』(全 7 巻+補巻)を刊行。

開催中の展覧会：特別展「『スーホの白い馬』の画家 赤羽末吉」

2023 年 9 月 9 日(土)~11 月 7 日(火) 開館 9:30~17:00 \*入場は 16:30 まで

一般 700(550)円 65 歳以上の方 450(350)円 高大生 450(350)円 小中生 300(200)円 ( )内は 10 名以上の団体料金

中島公園 北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園 1-4

Tel 011-511-7655 <http://www.h-bungaku.or.jp/>

●地下鉄南北線中島公園駅(出口③)または幌平橋駅(出口①)  
下車徒歩 6 分 ●市電「中島公園通」停留所下車徒歩 10 分  
●JR バス・中央バス「中島公園入口」より徒歩 4 分